

# 新生児聴覚検査・パス

## あなたの赤ちゃんは最初の聴覚検査に合格しました！

聴覚検査により、現時点ではあなたの赤ちゃんは両耳とも聞こえるとの結果が出ました。

赤ちゃんの名前: \_\_\_\_\_

日付: \_\_\_\_\_ スクリーニングの方法 ( 1つに丸印をつけて  
ください: )                      **OAE**                      **ABR**

## 赤ちゃんの聴覚検査はどのように行いますか？

検査はほんの数分で、ほとんどの場合、赤ちゃんが眠っている間に終わります。赤ちゃんのために特別に作られたイヤホンから静かな音を流します。音に対する赤ちゃんの反応は、音波音響放射 ( OAE ) または聴性脳幹反応 ( ABR ) によって自動的に測定されます。

今日の簡単な検査方法は非常に信頼性が高いです。赤ちゃんに難聴があれば、それが見過ごされることはめったにありません。

この検査は、あなたの赤ちゃんが今聴こえていることを示しています。しかし、新生児聴覚検査に合格した赤ちゃんが、後に難聴を発症する場合があります。

## なぜ赤ちゃんを検査するのですか？

難聴は目に見えないものです。現在では、テクノロジーによって難聴を生後間もない赤ちゃんのうちに発見することが可能になっています。

子供の最初の数ヶ月から数年間は、コミュニケーション能力を発達させるのに非常に重要な時期です。難聴や失聴の赤ちゃんは、正常な言語能力の発達が難しかったり、学校での成績が悪くなかったりすることがあります。聴覚障害を早期に発見し、赤ちゃん和家人に特別なサービスを提供することが重要なのはそのためです。

## 難聴の赤ちゃんの数は？

重度の難聴は赤ちゃん1,000人のうち2〜4人に見られます。難聴の赤ちゃんの約50%は、重大な病気や難聴の家族歴など、見られる徴候、または危険因子がありません。度重なる耳の感染症、髄膜炎、頭部外傷、その他の病気が原因で、後になって難聴になる赤ちゃんもいます。赤ちゃんが聴力を失う場合、その原因は不明のままです。



疑問や不安があれば、赤ちゃんの担当医に相談しましょう。事前の検査結果にかかわらず、子どもの聴覚検査を行う一番の理由は、養育者の懸念があるからです。子どもにとって何が最善か一番よく知っているのはあなたです。

## その後の赤ちゃんはどうなりますか？

赤ちゃんの成長に合わせて聴力を調べる必要があります。新生児聴覚検査は、赤ちゃんの聴力、発語、言語の発達を見守る第一歩です。赤ちゃんの言語や発語がどのように発達していくかに注意を払うことが大切です。

このパンフレットの「月齢別の聴覚と発話の段階」には、ほとんどの赤ちゃんが行う月齢別の行動がいくつか記載されています。赤ちゃんの成長に合わせて、行動や言葉をリストと照らし合わせてみましょう。赤ちゃんの聴力について心配なことがあれば、すぐにかかりつけの医師または医療機関に相談してください。

## 年齢別の聴力と発話の段階

| 年齢         | 聴力と発話の段階                                                                                                                                                                     |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新生児から生後3ヶ月 | <ul style="list-style-type: none"><li>» 静かな音から聞き覚えのある声や音</li><li>» 大きな音に反応する、赤ちゃんがびっくりする、まばたきをする、吸うのをやめる、泣く、または目を覚ます。</li><li>» 目覚めているとき柔らかい音を立てて、赤ちゃんがゴロゴロと喉を鳴らす。</li></ul> |
| 3～6カ月      | <ul style="list-style-type: none"><li>» 音、声、音を出すおもちゃ、犬の吠え声などの方に目や頭を向ける。</li><li>» 「ガ」、「オー」、「バ」またはp、b、mの音のような発音ができるようになる。</li><li>» 人の声のトーンの変化に反応する。</li></ul>                |

| 年齢         | 聴力と発話の段階                                                                                                                                                                                                 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6～9カ月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の名前に反応し、呼ばれれば顔を上げる。</li> <li>「ノー」、「バイバイ」、「ジュース」といった簡単な言葉を理解する。</li> <li>「ダ・ダ・ダ」「マ・マ・マ」「バ・バ・バ」としゃべる。</li> </ul>                                                  |
| 9～12カ月     | <ul style="list-style-type: none"> <li>小さな音にも大きな音にも反応する。</li> <li>単一単語を繰り返したり、動物の鳴き声を真似る。</li> <li>尋ねられると、好きなおもちゃや食べ物を指さす。</li> </ul>                                                                    |
| 12カ月から18カ月 | <ul style="list-style-type: none"> <li>10以上の単語を使用する。</li> <li>「ボールを取って」といった簡単な話し言葉の指示に従う。</li> <li>尋ねられると、人や体の一部やおもちゃを指さす。</li> <li>音楽に合わせてとび跳ねる。</li> </ul>                                             |
| 18カ月～24カ月  | <ul style="list-style-type: none"> <li>20以上の単語を使用する。</li> <li>2つ以上の単語を組み合わせる。「もっとジュース」、「それ何？」</li> <li>b、g、mといったさまざまな子音を単語の最初に使う。</li> <li>簡単なお話や歌を聞く。</li> </ul>                                        |
| 2～3年       | <ul style="list-style-type: none"> <li>2-3語の文章を使う。</li> <li>2歳になると、大人が多少理解できる程度に話せるようになる。(25%～50%)。</li> <li>3歳になると、大人がほとんど理解できる程度に話せるようになる。(50%～75%)</li> <li>「ボールを取ってテーブルに置いて」という2段階の指示に従う。</li> </ul> |

### 聴力は何歳でも検査できます。

カリフォルニア州の新生児聴覚検査プログラムは、難聴の赤ちゃんを特定し、生後6ヶ月までにサービスを提供することを目指しています。NHSPには、家族、医療提供者、病院と協力して、子どもたちが必要なサービスを受けられるための聴覚コーディネーションセンターがあります。

NHSPは、健康安全法第124119条に基づき、赤ちゃんの聴覚検査に関する情報を収集しています。聴覚コーディネーション・センターは、あなたとあなたの赤ちゃんが必要なサービスを受けられるよう、この情報を利用することがあります。聴覚コーディネーション・センターからフォローアップ・サービスについてご連絡させていただく場合があります。

詳細はこちら：

- » フリーダイヤル1-877-388-5301にお電話いただくか、ウェブサイト [www.dhcs.ca.gov/services/nhsp](http://www.dhcs.ca.gov/services/nhsp)。をご覧ください。